

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和4年度 第1回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和4年11月8日（火） （開会）午後1時30分・（閉会）午後3時30分
開催場所	桶川市役所5階 全員協議会室
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	岡安委員、岩崎委員、新島委員、柳田委員、関口委員 田中委員、伊藤委員、磯田委員、町田委員、西出委員、 比留間氏（森本委員代理）、勇委員
欠席者氏名 （委員）	吉田委員、竹中委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、野口副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任
会 議 事 項	議 題 【概要説明】 （1）桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について 【議題】 （1）成果指標の達成状況について （2）次期総合戦略の策定について 【その他】 （1）桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要について
	決定事項等 ■ 桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について意見交換。 ■ 次期総合戦略策定に向けたスケジュール（考え方）について了承。
配布資料	資料1 桶川市の現状について 資料2 桶川市の人口について 資料3 総合戦略の概要 資料4 年齢別人口動向等（過去10か年平均） 資料5 国の地方創生と桶川市の主な取組 資料6 成果指標の推移一覧 資料7-1 令和3年度の主な取組一覧 資料7-2 令和4年度の主な取組一覧 資料8 次期総合戦略の策定に向けたスケジュールについて 資料9 桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要 補足資料1 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿 補足資料2 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱 補足資料3 転入・転出アンケート集計結果

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
概要説明 (1) 桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について	
事 務 局	資料1、資料2、資料3、資料4、資料5に基づき、桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等はございますか。
委 員	資料1の図2 地区区分図について、市内各地区をこの6つの地区に区分した背景をお伺いします。
事 務 局	本市では、概ね中学校区を一つの生活圈域としてまちづくりを進めています。図2は、各地区の人口を把握する都合上、字界で区分し色分け表示しております。
委 員	資料2の図1 人口・世帯数の推移について、人口減に対し世帯数が増加する要因をどのように受け止めていますか。また、市の世帯人員は把握されていますか。
事 務 局	世帯数が増加している背景としては、核家族化の進行や離婚等が一つの要因だと考えられます。また、世帯当たりの人員は、令和3年4月時点で約2.3人となっております。
委 員	資料2の表1 地区別人口について、駅から比較的離れた川田谷地区と加納地区を比べると、川田谷地区の減少幅の方が大きくなっていますが、その要因をお伺いします。
事 務 局	地区別人口の地区割上、川田谷地区は全域が市街化調整区域となっている一方で、加納地区は地区の一部に市街化区域を含んでいることが、川田谷地区の人口減が加納地区と比較して大きい要因と考えられます。基本的には、市街化調整区域は市街化を抑制する区域となっておりますので、人口の減少幅は大きくなります。
委 員	同表の坂田地区、日出谷地区では人口が増加しています。市外から転入される方もいると思いますが、一定数市内での転居をされる方もいると考えられます。このような市内での人の動きを分析することも、次期総合戦略を検討する上で、大切な視点となると思います。【意見】
座 長	次期戦略を検討する際の参考としていただければと思います。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	資料4のグラフを見ると、男性は22歳から24歳までは、女性より大きく減少する一方、26歳→27歳、28歳→29歳は、大きく増加しています。また、60代以降になると総じて、女性と比較して男性の減少幅が大きくなっています。こうした状況となる背景をお伺いします。
事 務 局	22歳からの数年間は、男女共、大学などを卒業し、就職などにより転出する方が多くなっているものと推察しています。この傾向の中で、男性の方が減少幅が大きくなっています。また、男性の26歳からの増加については、22歳からの大幅な転出に対する反動も考えられますが、詳細は把握しておりません。60代以降の男性の減少幅については、男女の平均寿命の差などが要因であると推察しています。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委 員	資料4の説明文に、「都心から通勤・通学の便が良く・・・」とありますが、「都心への通勤・通学の便が良く・・・」ではないでしょうか。
事 務 局	ご指摘いただきましたとおり、「都心への通勤・通学の便が良く・・・」が正しい説明となります。資料を訂正いたします。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
議題（1） 成果指標の達成状況について	
事 務 局	資料6、資料7-1、資料7-2に基づき、成果指標の達成状況と令和3年度、令和4年度の主な取組を説明。
座 長	ただ今、事務局より成果指標の達成状況等について説明がありましたが、何かご意見やご質問はございますか。
委 員	資料6について、たくさんの指標がありますが、指標の中で特に重要なものがありましたら、ご説明ください。また、人口減少抑止に対する市の考えもお伺いします。
事 務 局	総合戦略は、人口減少を抑止するための戦略となります。このため、資料6の3ページ目にある将来目標人口が最も重要な指標です。この指標の達成に向け、3つの基本目標を掲げ、体系的に指標を設定しています。人口減少抑止については、人口を奪い合うといった人口増ありきではなく、今お住いの方々が、安心して暮らせる魅力あるまちづくりを進めることが重要であると考えております。そういったまちづくりを進める中で、それがまちの魅力となり、転入増につなげることができればと考えております。
委 員	人口減少は避けられない状況にあります。このような状況下では、一人ひとりの能力や生産性を高めていくことが、社会の豊かさを維持する上で大切になると思います。【意見】
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	現在、事業を進めている道の駅「（仮称）おけがわ」は、国が実施している高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験の対象となっています。これにより、インターチェンジを降りて2時間、当道の駅をサービスエリアのように利用することが可能となります。この2時間は桶川市にとって重要であり、道の駅を活用した魅力発信について、市の考えをお伺いします。
事 務 局	道の駅「（仮称）おけがわ」については、令和6年度中の開業に向けて、現在事業を進めております。道の駅は、本市の西側の観光まちづくり拠点となる施設で、交通量のある上尾道路に面しており、桶川北本 IC の至近にあることから、多くの方に立ち寄りいただき本市の魅力を発信できればと考えております。 道の駅を核として様々な施策を展開し、関係人口や交流人口を増やし、本市への転入促進に結び付けていきたいと考えております。
委 員	資料6の指標⑤「住み続けたいと思う若者の割合（18歳～29歳）」は、平成29年度と比較して令和元年は19.3ポイント上昇していますが、どのような背景があったのでしょうか。調査方法に変更があったのでしょうか。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事 務 局	<p>調査方法に変更はなく、18歳以上の市民から3,000人を無作為抽出する標本調査です。</p> <p>直近の市民意識調査を実施した令和元年は、令和元年東日本台風（台風第19号）による風水害が、東日本各地で発生しました。このような中で、市民意識調査では、本市を住みよいと感じる理由の1位が「災害の心配が少ない」となっており、災害に比較的強い土地柄が評価されたのも要因のひとつではないかと考えております。今回の数値の上昇については、今後の市民意識調査の結果も含め考察していきたいと思えます。</p>
委 員	<p>資料6の指標②「女性の初婚年齢」を指標とした背景をお伺いします。違和感を持たれる一面があるのではないかと印象を抱きます。</p>
事 務 局	<p>人口減少抑止を目的とする本計画の施策の効果を図るための指標として、平成27年の計画策定当時、統計的な傾向として、女性の初婚年齢と出産する子どもの人数に相関があったことから、本指標を設けております。</p>
座 長	<p>本戦略を策定した平成27年時点では、違和感がなかったのかもしれませんが、時代の流れにそぐわない指標となっている印象があります。資料を読む方に誤解を与えないよう、指標とした背景を説明するための注釈を入れる等してもよいのではないのでしょうか。【意見】</p>
委 員	<p>本市の取組として、「女性の初婚年齢」に直接影響を与えるような施策を展開していないのであれば、次期戦略ではこのような指標はやめた方がよいと思えます。</p> <p>また、婚姻年齢や子どもの数については、その時点の社会や経済の状況に大きく左右されるものであり、市の施策のみで影響を与えるのは難しいのではないのでしょうか【意見】</p>
事 務 局	<p>ご指摘いただきましたとおり、婚姻年齢や子どもの数については、様々な要因が想定され、市の施策の範囲を越えていると考えております。</p> <p>次期戦略の指標を検討する際は、今回ご指摘いただいた指標も含め、時代にあわない指標がないか点検するとともに、市の施策の効果を図る指標として適切かどうか、といった点に配慮していきたいと思えます。</p>
座 長	<p>他に何かご意見ご質問はありますか。</p>
委 員	<p>なし</p>
座 長	<p>今回、委員からいただいた意見を参考にして、事業を進めていただければと思えます。</p>
議題（2） 次期総合戦略の策定について	
事 務 局	<p>資料8に基づき、次期総合戦略の策定に向けたスケジュールについて説明。</p>
座 長	<p>ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問はございますか。</p>
委 員	<p>質問等なし。</p>
事 務 局	<p>それでは、今回示されたスケジュールを基本に、令和5年度にかけ、次期戦略の策定作業を進めていただければと思えます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
その他（１）桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要について	
事 務 局	資料 9 に基づき桶川市第六次総合計画基本構想（素案）概要について説明。
座 長	ただ今、説明のあった件について何かご質問やご意見はございますか。
委 員	質問等なし。
座 長	それでは、以上をもちまして「令和４年度第１回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了」といたします。